

被災地方言会話集

— 宮城県宮城郡七ヶ浜町 —

<場面設定会話>

場面設定会話の概要

収録地点 宮城県宮城郡七ヶ浜町

収録日時 2012（平成24）年7月19日

収録場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜

話題 【場面設定会話】
全13場面

話者

A	女	1931（昭和6）年	（収録時81歳）	[Bの遠い親戚]
B	男	1934（昭和9）年	（収録時78歳）	[Aの遠い親戚]

話者出身地

A	七ヶ浜町花湊浜（ハナブチハマ）
B	七ヶ浜町花湊浜（ハナブチハマ）

【場面設定会話】

話し手

A 女 1931 (昭和 6) 年 (収録時 81 歳)
B 男 1934 (昭和 9) 年 (収録時 78 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オハヨー Bサン。キョーワ ドコエカ イグノ。

おはよう Bさん。きょうは どこへか 行くの？

002B : アー イク° イク° ートコモ ナイシ マズ サンポダネ、アサワ。

ああ ×× 行くところも ないし まず 散歩だね、朝は。

003A : アー ソーデスカ。

ああ そうですか。

004B : ン サンポシナガラ。 ン。

うん 散歩しながら。 うん。

005A : ンデ キオツケテネ。

それでは 気をつけてね。

006B : アイヨー。

あいよー。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アラ コンニチワー。キョーワ ナニオ シテマシタ。

あら こんにちは。きょうは 何を していました？

002B : ナニオ スルコトモ ナイシ、ドコサ イッタライガ アデモナイシ、タダ

何を することも ないし、どこへ 行ったらいいか あてもないし、ただ

七ヶ浜町 場面設定会話

ジブンデ アルツテキタダゲニ スギナイワナー。 ウーン。
自分で 歩いてきただけに 過ぎないわな。 うん。

003A : アー ソーナンダ。 アー。
ああ そうなんだ。 ああ。

004B : タダ コゴニ チュージョー アルガラ (A アー) タマニ ヤキュー
ただ ここに 球場 あるから (A ああ) たまに 野球[が]

アルドギワ ミニ イッケントモ、 (A アー ソーネ) ンー、 (A ンー)
ある時は 観に 行くけれども、 (A ああ そうね) うん、 (A うん)

ソレダゲデス。 ンー。
それだけです。 うん。

005A : デモネ (B ンー) コドモダジノネ、 (B ンー) ウンドー ヤッテンノ
でもね (B うん) 子どもたちのね、 (B うん) 運動 やっているの

(B ンー) ミレバネ、キモズモネ、ナゴヤカ ナルガラネ。
(B うん) 見ればね、気持ちもね、和やか[に] なるからね。

006B : ン。 ナンボガ ハレマス。
うん。 いくらか [気持ち]が 晴れます。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オバンデスー。 (B ンー ンー) Bサン イマカラ ドコニ イクノー。
こんばんは。 (B うん うん) Bさん 今から どこに 行くの？

002B : ン。 チョット ソノヘンマデ ブラブラッテ サンポシナガラ、
うん。 ちょっと そのへんまで ブラブラと 散歩しながら、

ハラ ヘラスニデモ イッテクルガナード。 ン。
腹[を] 減らしにでも 行ってくるかなあと。 うん。

七ヶ浜町 場面設定会話

003A : アー ソーカ ソーナンダ。
ああ そうか そうなんだ。

004B : フロモ ハイイス、マダ ゴハン クーノガ
風呂も 早いし、 また ご飯[を] 食べるのが

005A : ンデ キオツケテ アルツテネ。
それでは 気をつけて 歩いてね。

006B : アイ アイ ワカリマシタ。ンー。
あい あい わかりました。うん。

〈 ねぎらい 〉

(4) Aが仕事に精を出すBと会い、Bの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001A : Bサン アツクテ ヒドイネー。ダイジョーブー。
Bさん 暑くて ひどいね。大丈夫？

002B : ンー ダイジョブダネー、コノ カラダノ テードダラバ。 (A アー ソーカ)
うん 大丈夫だね、 この 体の 程度ならば。 (A あー そうか)

ン ガンバリマース、ホントニ。
うん 頑張ります、 本当に。

003A : アツサ アツサニ マゲナイデネー。 (B ンー ソレ) キオツケテ
××× 暑さに 負けないでね。 (B うん それ) 気をつけて

ハダラグンダヨ。
働くんだよ。

004B : アイヨ ワカリマシタ。ンー ンー。コンゴトモ キオツケデ ヤ
あいよ わかりました。うん うん。今後とも 気をつけて ×

ガンバリマスカラ、ンー。
頑張りますから、 うん。

〈 勧め 〉

(5) Aが、仕事をしているBに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001A : Bサン オシゴト ヤスンデ イップグツゲダラワ。(B ン ンダネ)
Bさん お仕事 休んで 一服したら? (B うん そうだね)

ホラ オチャデモ イーシ、(B ン) オカシデモ イーシ、ホラ ホラ
ほら お茶でも いいし、(B うん) お菓子でも いいし、ほら ほら

コレタベテ。(B ン) ヤスミナサイ。
これ食べて。(B うん) 休みなさい。

002B : ンダネ、ソレモ アリガタイネー。ンデ ゴツツォ ナリマスカラ。
そうだね、それも ありがたいね。それでは ご馳走[に] なりますから。

チョット オセワナッテイキ° マス。
ちょっと お世話になっていきます。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、AがB宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001A : ゴメンクダサーイ Bサン オリマスカー。
ごめんください Bさん おりますか?

002B : アイ イダガラ アカ° ッテ オジャ ノマイーン。
あい 居るから あがって お茶 飲みなさい。

003A : アーイ。(B ン) ドーモー。
あーい。(B うん) どうも。

004B : ナニ、バーチャンモ イダス、ユックリシテカ° インッテ。
なに、ばあちゃんも 居るし、ゆっくりしていきなさいって。

005A : ジャ (B ン) オジャマシマスネー。(B ン ン)
じゃあ (B うん) お邪魔しますね。(B うん うん)

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) AがBにスコップを借りるときのやりとり。(Bが貸す場合)

001A : Bサン アノ、スコップ ツカウ シゴド アルンダゲドモ、カシテクレナイ。
Bさん あの、スコップ 使う 仕事[が] あるんだけども、貸してくれない？

002B : アイ ドーズ ツカッテチョーダイ。シー シー シー シー。
はい どうぞ 使ってちょうだい。 うん うん うん うん。

003A : ンデ オカリシマース。
それでは お借りします。

〈 お礼 〉

(8) Aが借りたスコップをBに返しに行ったときのやりとり。

001A : アー タスカリマシター。スコップ カリデ ホントニ ヨカッタデース。
ああ 助かりました。 スコップ[を] 借りて 本当に 良かったです。

ドーモ アリガトーネ。
どうも ありがとうね。

002B : アー チーサナモノデモ ツ ヨーケン デギダモンタラ イガッタネ。シー
ああ 小さなものでも × 用件[が] 出来たものなら よかったね。 うん

シー シー。
うん うん。

003A : シー ソーデス。アリガトーゴザイマース。
うん そうです。ありがとうございます。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) AがBに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : Bサン (B シー) カリタモノ コワシテシマッテ ドーシマショー。
Bさん (B うん) 借りたもの 壊してしまっって どうでしょう。

七ヶ浜町 場面設定会話

002B : イヤ ワッザワザ コワシタワゲデナイガラ シカダナイッテ。
いや わざわざ 壊したわけではないから 仕方ないって。

ツカッテモラッタんだし、ワンジャニ コワシタワゲデナイガラ イーヨ。
使ってもらったんだし、わざと 壊したわけでないから いいよ。

シー シー シー。
うん うん うん。

003A : すみません。 デモ ナニカト キノドクナンデスケド。
すみませんね。 でも 何かと 気の毒なんですけど。

004B : シー ア イヤイヤ ホンナゴド ス キノドグニシナイデ。
うん ああ いやいや そんなこと × 気の毒にしないで。

(9-2) Bが破損に対して不満を述べる場合。

001A : Bサン スコップ カリタノ コワレデスマッタノ、ドーシヨー。
Bさん スコップ 借りたの 壊れてしまったの、 どうしよう。

002B : ナーндаイ、カリデイッタモノ ナシテ コワシテ ヨゴシタ。 ン。 ン。
なんだい、 借りていったもの どうして 壊して 寄こした。 うん。 うん。

003A : アンマリ チカラガ ハイッタノデ (B ウアー)
あんまり 力が 入ったので (B ×××)

コワレデシマッタンダゲドモ。
壊れてしまったんだけども。

004B : ナオス ナオステ ヨコスノガ ホントデネーガト。 シー。
××× 直して 寄こすのが 本当でないかと[思うよ]。 うん。

005A : ンデ アダラスク カッテヤルカラネ。 {笑}
それでは 新しく 買ってやるからね。 {笑}

〈 誘いと断り 〉

(10) AがBをお出かけに誘う際のやりとり。

001A : Bサン キョーワ オデカゲスタインダケド、イッショニイカナイ。

Bさん 今日は お出かけしたいんだけど、一緒に行かない？

002B : アー チョー カソグト イク° ヨテー アルガラ イッショニ

ああ 今日 家族と 行く 予定 あるから 一緒に

イカ° レナイナー。シー シー。

行けないなあ。 うん うん。

003A : アー ザンネンダネー。(B ハイヨ シー) ンデ アトデネ。

ああ 残念だね。(B はいよ うん) それでは 後でね。

004B : ハイヨ。マタ ソノドギ オネガイシマス。

はいよ。また その時 お願いします。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Bの調子がいい場合。

001A : ゴメンクダサーイ。Bサン。

ごめんください。 Bさん。

002B : アイヨー。

あいよー。

003A : カラダワ ドーオ。

身体は どう？

004B : アー チョー チョースイーネー。ユックリ オジャデモ ノンデ。シー シー。

ああ 今日 調子いいね。 ゆっくり お茶でも 飲んで。うん うん。

005A : アリガトー。チョーシイードギワ イーヨネー。

ありがとう。調子いい時は いいよね。

七ヶ浜町 場面設定会話

006B : シー シー (A ン) ンダネー。
うん うん (A うん) そうだね。

007A : ンジャ イッショニ ノミマスカ。
それでは 一緒に 飲みますか。

008B : ヒョ ヒョーズギナ モンダガラ、カラダモネ。
×× 正直な ものだから、身体もね。

009A : ンデ オジャマシテイーイ。
それでは お邪魔していい?

010B : イーヨ。
いいよ。

011A : アー ソーデスカ。
ああ そうですか。

012B : ユックリ オジャノンデー。
ゆっくり お茶飲んで。

(11-2) Bの調子が悪い場合。

001A : Bサン カラダ ドーデスカ。
Bさん 身体 どうですか。

002B : アー チョーワ チョースワリーナー。 ホレデモ ヨガッタラ オカーサン
ああ 今日は 調子悪いな。 それでも よかったら お母さん

イダガラ オジャデモ ノンデイカ° イン。 ン。
居るから お茶でも 飲んでいきなさい。 うん。

003A : Bサン ノネ (B シー シー シー) カラダガ シンパイデ キタンダゲド、
Bさんの ね (B うん うん うん) 身体が 心配で 来たんだけど、

七ヶ浜町 場面設定会話

チョーシワルイノ (B ン) ヒドイヨネー。
調子悪いの (B うん) ひどいよね。

004B : ン。ンダゲッド カーチャン イッカラ、オレノ チョース ワルイダッテ
うん。だけど かあちゃん[が] いるから、俺の 調子 悪くても

(A フーンダネ) ユーズンダゲレバ [1] オチャノンデカ° インッテ。ン。

(A そうだね) 友人だったら お茶飲んでいきなさいって。うん。

005A : ンデ オジヤマシテ イーデスカ。
それでは お邪魔して いいですか。

006B : ンエ。アイヨ。ユックリド。
ええ。あいよ。ゆっくりと。

007A : ハイハイ (B ン ン) アリガトーゴザイマース。
はいはい (B うん うん) ありがとうございます。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというBに、Aが「(私が) 片付けてやろう」というときのやりとり。 [2]

001B : オバチャー ン チョー チョースワルイガラ、 (A ン) オバチャン コ
おばちゃん 今日 調子悪いから、 (A うん) おばちゃん ×

コーユー シゴト アンダゲット、チョット テズダッテ。

こういう 仕事 あるんだけど、ちょっと 手伝って。

002A : アー ソーカ ソーユーン ダッターラ (B ン) テツダッテアゲルヨ。ドラドレ
ああ そうか そういうの だったら (B うん) 手伝ってあげるよ。 どれどれ

ドンナシゴト。

どんな仕事？

003B : ン。 マズ ソゴニ アルモノオ、ワダシデ デギナイガラ、チョット
うん。まず そこに あるものを、私で[は] できないから、ちょっと

七ヶ浜町 場面設定会話

カダズゲテモラッテモ イーンダナー。
片付けてもらっても いいんだな。

004A : ハイハイ。(B ン) ンデ テツダッテ (B ン) アゲマスヨ。
はいはい。(B うん) それでは 手伝って (B うん) あげますよ。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をAが間違っ捨てようとしているときに、Bがそれを
制止してどのようにいうか。

001A : Bサン ココニ アルモノ、 コレ ナゲテイーイ。コレモ ナゲテイー。
Bさん ここに あるもの、 これ 捨てていい? これも 捨てていい?

002B : ダメダヨ、 イママデ トッテダモンダカラ ナゲデワ ダメダヨー。
だめだよ、 今まで 取っていたものだから 捨てては だめだよ。

003A : アー ソーデスカ。(B ン) ソレジャ ココ (B ン)
ああ そうですか。(B うん) それじゃ ここ[に] (B うん)

カザッテオキマスヨ。(B ン)
飾っておきますよ。(B うん)

宮城県宮城郡七ヶ浜町方言会話集（場面設定会話）注記

〔1〕 ユーズンダゲレバ

名詞＋ダケレバで「～だったら」という仮定条件（前に述べた事柄を仮定して、後の事柄に続ける表現形式）となる。

〔2〕 申し出ではなく、依頼－受託の場面であるが、採用した。

宮城県宮城郡七ヶ浜町方言会話集（場面設定会話）担当者

収録担当者 武田 拓（仙台高等専門学校准教授）
 坂喜 美佳（東北大学大学院文学研究科博士後期課程3年）
 伊藤 友香（東北大学文学部3年）

文字化担当者 坂喜 美佳（東北大学大学院文学研究科博士後期課程3年）